

一人は万人のために
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま



発行所
福島医療生協

医療生協

2023年7・8月号 第438号
発行責任者 山口 裕
<http://www.watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34
生協いいの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字塗谷地20-1



第57回 通常総代会

2023年6月17日(土) コリッセふくしま

理事長あいさつ



理事長
齋藤 紀

昨年までの総代会は、感染防止の観点から規模を縮小せざるを得ませんでした。今回は、多くの総代のみなさんに参加していただき開催することができました。

2022年度はこれまでも増して、新型コロナウイルスの感染が広がった1年になりました。感染拡大は組合員活動においても、事業活動においても大きな影響がありました。それぞれに工夫し切り抜けられましたが、組合員のみならず、職員のみならず感謝申し上げます。経営面では数10年にわたり続いてきた累積赤字を解消することができ、歴史的な年となりました。まだまだ経営的に盤石になったわけではありませんが、今年総代会では長期計画の開始を議案としています。

さて、世界情勢をみると、ロシアのウクライナ侵略を契機に、国連を中心とした平和外交が後景に退きました。我が国においても、異常な軍拡予算が組まれ、社会保障関連予算が引き続き削減の対象となっています。原発問題、ALPS処理水の海洋放出問題等、私たちにとって疎かにできない数多くの課題もあります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

第57回通常総代会支部・班表彰

受賞されたみなさん、おめでとうございます。

支部表彰

○優良賞

運営員会を10回以上開催し、全国4課題のいずれかを2つ以上達成している支部。

- ① 組合員ふやし ② 出資金ふやし
- ③ 担い手ふやし(5人以上または年度当初の3分の1以上)
- ④ 新班の結成(3班以上結成)

渡利支部、もちずり支部、中央支部、蓬萊支部、飯坂支部、清水北支部、清水南支部、鳥川平田支部、大森永井川支部、杉妻支部、飯野支部、川俣支部、霊山支部、保原支部、川西支部

班表彰

○優良賞

1. 班会を5回以上開催、組合員を10人以上または年度当初の班員数以上ふやし、社会保障を守る活動に努力している班。

- もちずり支部「オーロラ班」
- 松川支部「どんぐり班」
- 清水南支部「わかば班」
- 飯野支部「わかさ班」
- 飯野支部「コスモス班」
- 飯野支部「あじさい班」
- 川俣支部「古組班」
- 川西「やっこみこべ班」

2. 班会を10回以上開催、2年間継続している班。

平野余目支部「キャット」

※コロナ禍で活動が休止・制限されるなか、感染予防に配慮し開催した班について、2021年度は班会を5回以上開催、2022年度に10回以上開催した班を表彰対象としました。

2022年度のまとめと2023年度の方針



専務理事 山口 裕

福島医療生活協同組合

第57回通常総代会が、6月17日(土)「コラッセふくしま」にて開催されました。

コロナ禍のため、ここ3年間は規模を縮小して開催を行ってききました。今年は、代理出席も含め141名の実参加のもと総代会を行うことができました。

今総代会では、2022年度の活動をあらためて確認しました。2022年度は、コロナ禍の中でも多くの活動を再開する方針でしたが、8月の第7波、11月下旬からはじまった第8波は、これまでと比べ物にならないくらい感染が広がり、組合員活動も事業活動も大きな影響を受けました。それでも数多くの活動を行うことができました。

ロシア軍のウクライナ侵攻に抗議するスタンディングは、継続して行ってきましたし、ペットボトルキャップ回収の取り組みも多くの方に協力いただきました。9回目となった禁煙ポ

スターコンクールは、711作品の応募があり、683人の来場者がありました。

事業面では、コロナ対応に追われた1年になりました。8月や11月に発生したクラスター(事業所内感染)では、多くの職員が感染し、対応に困難を極めました。

経営的には、コロナ関連補助金の収入もあり、2億1300万円の利益を上げることができました。これも含め、長年念願だった累積赤字が解消できました。

2023年度は、長期計画の策定の年とします。わたりの病院が最初に建てられてから48年が経ちます。老朽化がすすみ、リニューアルが避けられない課題となっています。

運動的にも課題が多い年になります。多くの県民が反対しているALPS処理水海洋放出も間近に迫っていますし、平和の取り組み、そして社会保障を改善する取り組みは重要な課題です。

今回の総代会では、昨年行った支部活動の紹介がありました。バザーやバスハイク、支部ニュースの発行、そして地域訪問等、どれも重要な取り組みです。2023年度は、さらに活発な活動をすすめていきます。

医療生協は、人と人とのつながりを大事にした組織です。そのつながりがコロナ禍で寸断されました。2023年

度は、つながりを強め、地域のみなさんの要望に答えられるようにがんばっていきます。ご協力をお願いいたします。



長期計画を見据えた病院のリニューアル

今年5月8日をもって

新型コロナウイルス感染症は、感染法上の位置づけが2類から5類に引き下げられました。福島医療生協は、全ての職員がこの感染症に立ち向かい、大変な

努力の末に乗り越えることができました。組合員のみなさんにも様々な形で病院を支えていただき、改めて心より感謝申し上げます。

このコロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、わたり病院の活動を振り返ってみると、どうしても建物の古さが目につきま

医療生協わたり病院 院長 北條 徹

者さんを診るには色々な問題があります。感染症を防ぐために十分な待合室や診療室のスペース、充実したリハビリを行うためのスペースを取ることができません。私たちが、これからの地で医療を続けていくためには、感染症に強い新しい病院がどうしても必要です。

ここ数年、私たちの医療と経営は大きく前進してきました。しかし、このままの延長線では新しい病院を実現することは困難です。この状況を乗り越え、

わたり病院は2025年に開院50周年を迎えます。この記念すべき節目を祝うとともに、新しい病院の設計図をみなさんにお示ししたいと思えます。しかるべきその時には、計画の検討とともに、計画に関わる活動に積極的にご参加ください。よろしくお願

職場紹介

南2階回リハ

入院生活はすべてリハビリ!!

看護長 渡邊 渚

回復期リハビリテーション病棟は、脳卒中や骨折等の患者さんに早期から365日リハビリテーションを行う病棟です。リハビリテーション専門医をはじめ、看護師、介護福祉士、リハビリ

治療を受けながらリハビリできる唯一の病院です。病棟内での生活はすべてリハビリです。食事・排泄・着替へ入浴、すべてが生活するために、生きるために必要なことです。患者さんだけでなくご家族とも相談しながら、安全面に配慮した入院環境をつくり、充実

したリハビリが提供できるよう工夫しています。そのため、患者さんのリハビリに対する意欲が不可欠です。病棟スタッフは、患者さんが「障害を持ちながらも、その人がその人らしく生活できる」ようにご家族も含め、支援しています。

当院は、県北地域で透析



病棟内は季節感のある装飾や患者さんの作品で明るい雰囲気です。また、コロナ前には年2回の病棟運動会などのレクリエーションも実施していました。今年も再開できるかな...と願っています。

介護保険制度を 考える⑤

これからの介護保険について



やまなみ介護支援事業所
介護支援専門員
渡辺 英明

介護保険の改正について

2000年からスタートした介護保険制度ですが、高齢化社会の現状等を踏まえ3年に1度、法改正が実施されています。サービスの充実や支援体制が強化される一方、これまでの法改正では介護サービスの利用者負担割合の引き上げ等が実施されてきました。

今回の改正が2024年4月となっており、政府は審議をすすめています。①介護保険の自己負担が原則2割、②介護サービスの利用に必要なケアプランの作成を有料化、③要介護1・2の方を対象に訪問介護や通所介護を介護サービスではなく、※日常生活支援総合事業へ移行等も検討されています。

討されています。

原則2割負担やケアプランの有料化、総合事業への移行については2024年の改正では見送りになりそうですが、次回以降の改正では段階的にすすめられる可能性もあります。

自分らしく生活するために

「健康寿命」という言葉をご存知でしょうか？わかりやすくいうと「健康で自立した生活を送れる期間」です。令和元年の統計で男性72.6

※日常生活支援総合事業(総合事業)

市町村が中心となって地域全体で介護予防や生活支援をおこなう事業です。身体機能の維持、向上だけでなく、高齢者自身が地域や家庭の中で、何らかの役割を担いながら生活することも目的としています。

介護保険支出の抑制も狙いです。

8歳、女性75.38歳となっております。平均寿命との差は男性で8.73年、女性で12.06年となります。男女での差はありますがおよそ10年間が「何らかの支援、介護が必要な期間」と考えることができ

ます。自分自身や家族が、突然介護が必要な状況になったり、近所の方から相談を受けることがあるかもしれません。そんな時に、少しでも早くスムーズに介護サービス等の支援を受けることができるよう、今までの話がお役に立てば幸いです。

「自分らしい生活」「自分の望む生活」とはどのような生活ですか？ご家族や身近な人と相談しておくとういと思

います。人口の3人に1人が65歳以上の高齢者になる時代も目の前に迫っています。超高齢化社会、少子化、財政不足等を理由として、サービスの抑制をしていくと考えられます。私たちは、社会保障制度が充実し、誰もが安心して生活できる社会をつくる活動を引き続きすすめていきます。

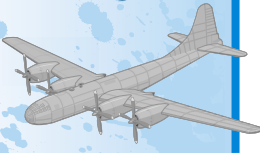
戦争を考える シリーズ⑥

子どもたちの涙

終戦の夏は、私は5年生でした。いまも、B29の機関銃や空襲で真っ赤に染まった海を忘れることはありません。

私は、小名浜の岬(マリントワーの近く)に住んでいました。農家で7人兄弟の長女の私は、母親の代わりに、幼いときから弟を背に畑仕事や炊事をしていました。小学1年生の時に戦争がはじまり、3歳の弟を連れて小学校に通いました。小さい弟は、歩くのが遅く遅刻

もぢぢり支部 河野セイ子



ばかりでした。先生に、弟が泣いても何時間も一緒に廊下で立たされた辛い思い出があります。また、4年生からは、戦地に食糧を送るために、学校の校庭に作った畑を耕し、ほとんど勉強ができませんでした。

当時の小名浜から日立までの海岸線は、軍関係の施設がたくさんありました。終戦の前年(昭和19年)には、戦況がどんどん悪化し、連日のように空襲を受けました。朝7時ごろに、編隊を組んだB29が、岬にある私の家の上空から工

組合員活動部

おたためし班会

川西支部 わあくわあく班

いろいろなものをつくって楽しんでいます。今回は野菜の看板を畑に立てました。



松川支部 あやめ班

近況報告と健康情報を共有しました。次回は体操を行う予定です。



みなさんのお近くでも
おたためし班会してみませんか。

班は、ご近所やお友達でつくる、医療生協の大切な集まりです。

場に向かって飛んでいきました。重低音のエンジン音と機関銃の弾が雨のように流れ、泣きながら何回も何回も空襲がなくなることを願っていました。近所には、裏山のB29の不発弾の爆発で手をなくした可哀そうな子どもがいました。

戦後78年、世界の戦争地域の子どもの涙を見ると、あのときが思い出され、胸が痛みます。戦争は絶対に反対です。子どもたちが涙を流すことのない、平和な世界を望みます。

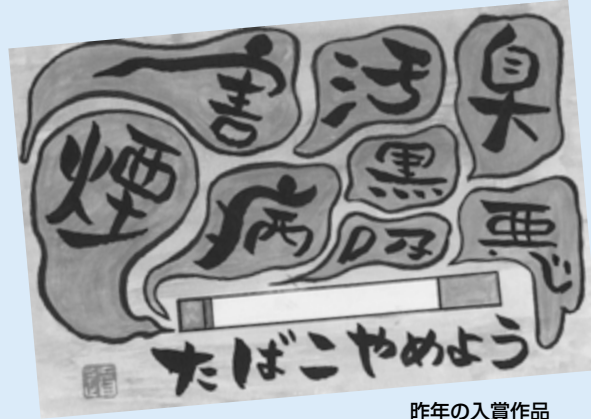
募集要項

- 対象 福島医療生協の組合員
- 作品の条件
 - ①郵便はがきサイズ、おひとり1作品のみ
 - ②はがきは、たてよこ自由
 - ③画材は水彩、クレヨン、ちぎり絵等自由
自分で描いた未発表の作品
 - ④落款印は自由
 - ⑤作品は返却いたしません
- 応募方法 作品を郵送または直接届けてください
※作品の裏面に必要事項をご記入ください
①住所 ②氏名 ③連絡先
- 応募窓口 福島医療生協 組合員活動部(☎522-1236)
禁煙絵てがみ応募係 宛
- 応募期間 令和5年8月1日(火)～令和5年9月30日(土)
- 表彰 入賞者へは賞状と副賞を進呈します
- 作品展示 応募された作品は「コラッセふくしま」に
展示します。
- 展示期間 11月11日(土)12:00～16:00
11月12日(日)10:00～16:00



第3回 禁煙絵手紙コンクール 作品大募集!

～絵手紙で熱い禁煙メッセージを書いてみませんか?～



昨年の入賞作品

健康づくり 企画の ご案内

2つの健康づくり企画のご案内をいたします。少しでも興味を持ったあなた!ぜひご応募をお待ちしております。

第7回 すこしおチャレンジ 参加者募集!



内容

- ◆期間 9/4(月)～12/15(金)
9月と12月に①～③を測定します。
①推定塩分摂取量 ②尿ナトリウム・カリウム比 ③尿カリウム摂取量
- ◆費用 800円(尿検査・資料代2回分)
※お申し込みの際にお支払いください。
- ◆取扱方法 詳細な案内は、ご本人へ郵送します。
・検体(尿)は、下記の期間にお持ちください。
平日9時から12時まで(時間厳守)
(1回目:9/4～9/15、2回目:12/4～12/15)
- ◆提出先 福島医療生協 組合員活動部(☎522-1236)
- ◆結果 測定結果は、毎回ご本人へ郵送します。

＼おろしにんにくが隠し味です。／

すこしお レシピ にんじんの ナムル風

塩分0.6g 1人分66kcal



材料 (2人分)

- ・にんじん 150g
- ・おろしにんにく 1/3片分
- ① 塩・しょうゆ... 各ミニスプーン1
ごま油 小さじ2
- ・いり白ごま 少量

作り方

- ① にんじんは4～5cm長さのせん切りにする。耐熱ボールに入れてラップをし、電子レンジ(500W)で2分加熱する。
- ② 水けをよくきり、①を加えて混ぜ合わせる。器に盛ってごまをふる。

2023年

原水禁世界大会 in長崎 代表者決定!!

8月7日(月)～8月9日(水)



組合員代表
鳥川平田支部
富田 和子さん



職員代表
看護師
日下部 瑞穂さん

無料

法律相談会

8月10日
9月14日

- 日時/毎月第2木曜日 13時30分から15時30分
※日時は変更になる場合があります。
- 場所/福島医療生協わたり病院内
電話申込制 TEL.522-1236
- 相談員/あぶくま法律事務所弁護士

8月の休診のお知らせ

	14日(月)	15日(火)	16日(水)
わたり病院		休診	
いいの診療所	休診	休診	
クリニックさくらみず		休診	休診

8月12日(土)は午前中のみ診療です



福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、QRコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。



組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。
友だち追加はこちらから

